

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県リスクレベルについて

ページ番号：0051409 更新日：2021年7月19日更新

現状認識

現在の感染状況

レベル3 警報

なお、感染状況は増加傾向が見られます。

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況				早期探知指標 新規陽性者数の前週今週比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率		④新規陽性者数 週合計	⑤感染経路不明割合 直近一週間	
	入院医療		重症者用病床		県内全検査	行政検査等※2			
	確保病床使用率	入院率※1	確保病床使用率	週移動平均			直近一週間		
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	—	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	—	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階								
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階								
7月18日	6.0%	80.0%	3.6%	45人	1.0%	8.6%	33人	16人(48.5%)	
7月14日	3.6%	81.5%	1.8%	27人	0.4%	4.9%	12人	6人(50.0%)	1.33
7月7日	3.5%	65.6%	1.8%	32人	0.3%	2.8%	9人	5人(55.6%)	0.36
6月30日	8.1%	79.0%	8.9%	62人	0.6%	3.4%	25人	5人(20.0%)	0.69
6月23日	10.9%	77.1%	16.1%	83人	0.9%	5.6%	36人	13人(36.1%)	0.88
6月16日	15.4%	80.5%	16.1%	113人	1.0%	5.9%	41人	18人(43.9%)	0.58
6月9日	30.4%	80.1%	25.0%	226人	1.5%	8.2%	71人	23人(32.4%)	0.37
6月2日	47.3%	57.0%	48.2%	493人	3.3%	10.7%	194人	77人(39.7%)	0.50

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用
 ※2 行政検査及び医療機関で陽性が確認された検査の陽性率（参考値）

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒啓報	県内で ①新規感染者150名以上 かつ ②病床利用率25%以上 等	・重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 ・大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 ・メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別啓報	県内で ①新規感染者50名以上 かつ ②リンク無し感染者25名以上	・地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 ・メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者30名以上 又は ②リンク無し感染者15名以上	・地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	・新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・日常的な対策を啓発	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

国内の感染状況は、大都市における増加から波及し、各地で増加傾向にあります。緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域を除く地域においても、国分科会の示すステージ3の新規陽性者数に近づいている地域も出てきています。こうした現象は、これまでも感染の大きな拡大前に見られており、第5波が全国的に拡大しうる状況となったと考えられます。

本県において、7月12日から18日までの感染者は33人（リンク不明感染者数は16人）であり、リスクレベル3の基準を上回ったことから、緊急的にリスクレベル3警報に引き上げます。

県内においても、感染性が高いとされるデルタ株及び疑い例の確認が増加しています。また、第4波で確認されたように、他自治体での行動歴のある方の感染が、都市部や県北の県境部で増加しており、今後、更なる増加が懸念されます。

これまでも、こうした状況で人の移動が増加することにより、急激な感染増加を経験している。現在、ワクチン接種が進められているが、多くの方が免疫を獲得するにはしばらく時間を要するため、急激な感染増加が起こった際には、県民の皆様の命を守り、医療崩壊を防ぐために、これまでのような時短要請等の強い措置が必要となると考えられます。

県民の皆様には、先週お伝えしたとおり、福岡県への移動は慎重に判断するとともに、4連休や、東京オリンピック・パラリンピック観戦における、普段一緒にいない人との交流に十分注意していただくようお願いいたします。また、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

県民の皆様へのお願い

対策と要請

熊本県の状況は、**レベル3**警報です。また、感染状況は増加傾向が見られます。
感染の再拡大を防ぐため、次の対策に御協力をお願いします。